

平成30年度 特別企画

致道博物館 館蔵品 洋画家三人展

常設展示室

2018 11月2日(金) - 12月4日(火)



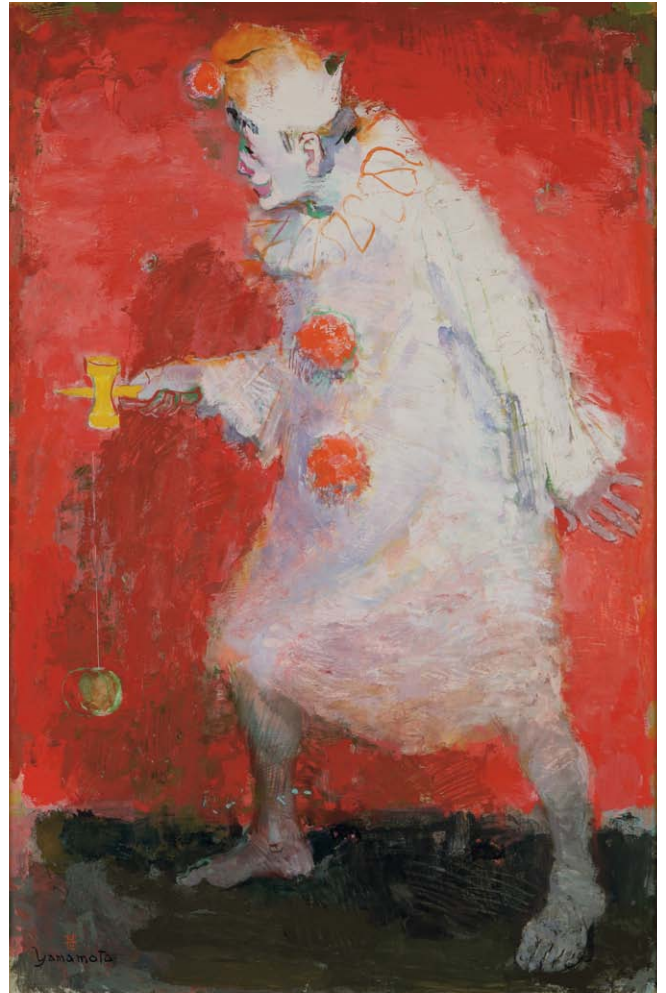
齋藤 求 菜の花の咲く頃 1996 30F 油彩・キャンバス



地主悌助 石 1966 20F 油彩・キャンバス

致道博物館は1950(昭和25)年、旧庄内藩主酒井家16代忠良氏が、地方文化の向上発展に資することを目的として土地建物および伝来の文化財などを寄附したことにより開館しました。名称は庄内藩校「致道館」に由来します。

鶴ヶ岡城三の丸に位置し、古くは藩の御用屋敷で、現在は幕末に建てられた御隠殿とよばれる建物の一部が残っています。奥座敷から望む書院庭園は、国の名勝に指定されています。構内には重要文化財旧西田川郡役所、旧鶴岡警察署庁舎、旧渋谷家住宅が移築保存されています。それら歴史的建造物を活用し、考古、歴史、民俗資料などをテーマ別に常設展示するほか、企画展を開催しています。



山本甚作 ケン玉 1971 80F 油彩・キャンバス

【講演】 致道博物館 館長 酒井忠久氏 鶴岡と致道博物館 11月10日(土) PM1:00より

【同時開催】 最上徳内記念館 庄内藩の名品と蘭学者展 11月2日(金) - 12月4日(火)



最上川美術館
真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1 TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152
開館時間/午前9時~午後5時 休館日/水曜日 入館料/大人 300円 小・中学 150円
E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp HP www.massimo-k.org

平成30年度 特別企画 致道博物館 館藏品 洋画家三人展
 会期 2018 11月2日(金) - 12月4日(火) 常設展示室

鶴岡出身の洋画家3人は、大正・昭和・平成と各方面で活躍された方々です。致道博物館の館藏品の中から選りすぐって選びました。平成の元号が今年で最後になることを惜しみつつ、平成30年度の特別企画展として「致道博物館 館藏品 洋画家三人展」を開催いたします。

皆様のご来館を心からお待ち申し上げております。秋の大淀の景色もお楽しみくださいませ。

地主 悌助

大皿	10F	1952	油彩・キャンバス
筵(むしろ)	50F	1955	油彩・キャンバス
自画像	10F	1955	油彩・キャンバス
山村初夏	10F	1958	油彩・キャンバス
ブリキ板	40F	1959	油彩・キャンバス
紙	8F	1959	油彩・キャンバス
石	20F	1966	油彩・キャンバス

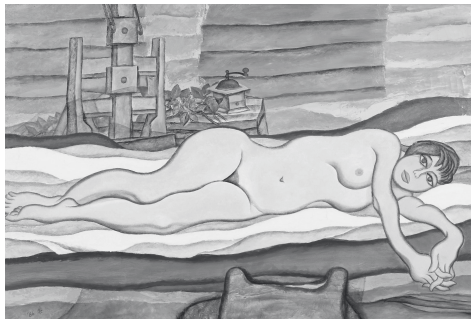


自画像

経歴

- 1889 山形県鶴岡市に生まれる
- 1905 県立荘内中学校を中途退学、小学校教員
- 1913 文展で坂本繁二郎を訪問し、師事私淑
- 1915 秋田県師範学校教諭
- 1924 山口県女子師範学校教諭
- 1925 帰郷し、県立鶴岡中学校教諭
- 白癡社の委員長をつとめる(1953まで)
- 1954 神奈川県二宮市に転居し絵画の制作に専念
- 1956 芸術院会員小林秀雄の認めるところとなり、中央画壇でその名を現すようになる
- 1966 致道博物館で個展を開催
- 1971 新潮社の日本芸術大賞を受賞
- 1975 11月 逝去 享年86才
- 1977 致道博物館で「地主悌助洋画回顧展」を開催
- 1990 致道博物館で「異色の洋画家 地主悌助の画業」展を開催

齋藤 求



画架とモデル

丘陵	60F	1960	油彩・キャンバス
裸婦	100M	1984	油彩・キャンバス
画架とモデル	100P	1986	油彩・キャンバス
菜の花の咲く頃	30F	1996	油彩・キャンバス

経歴

- 1907 山形県鶴岡市に生まれる
- 1927 東京美術学校(現東京芸大)入学
- 1929 第16回二科展入選
- 1931 第1回独立展入選
- 東京美術学校油絵科卒業 師：藤島武二、中山巍
- 1941 独立美術協会賞受賞
- 1945 東京より郷里鶴岡市に転住
- 1947 独立美術協会会員
- 1951 県立鶴岡南高等学校教諭 山形大学講師
- 1968 鶴岡南高等学校定年退職 東京世田谷区に転住
- 1991 独立美術協会特別功労賞受賞
- 1995 鶴岡市特別文化功績賞受賞
- 致道博物館主催 米寿記念「齋藤求洋画展」
- 2003 12月 逝去 享年96才
- 2005 致道博物館で遺作展を開催 画集『齋藤求の世界』発刊

山本 甚作



最後の晩餐

ケン玉	80F	1971	油彩・キャンバス
歩行者天国	80F	1973	油彩・キャンバス
老いたる道化	80F	1984	油彩・キャンバス
最後の晩餐	120F	1991	油彩・キャンバス

経歴

- 1915 山形県鶴岡市に生まれる
- 1928 山形県立鶴岡中学校入学。地主悌助に学ぶ
- 1934 東京美術学校(現東京芸大)入学
- デッサンを田辺至、塑造を朝倉文夫に学ぶ
- 1947 鶴岡市立第一中学校教諭(1949年まで)
- 1953 上京、世田谷区南烏山に居住
- 1957 日本医科大学名誉教授金子丑之助博士著「日本人体解剖学」の挿絵執筆 以後長年担当する
- 太平洋美術会会員
- 1964 橘原健三氏の招きにより示現会に出品 また日展にも出品する
- 1965 「東京中日新聞」に高木彬光氏の連載小説『都会の狼』の挿絵を執筆
- 1977 水戸市美松画廊に於いて『フラメンコ素描展』を開催
- 1978 「サンケイ新聞」に鹿島孝二氏の連載随筆『わが町上野そして浅草』の挿絵を1984年まで執筆
- 1982 茨城県立県民文化センターに於いて個展 画道40年記念『山本甚作展』
- 1992 示現会理事に就任
- 1996 10月 逝去 享年81才
- 2000 致道博物館で「山本甚作遺作展」を開催

展示作品は変更をする場合がありますのでご了承下さい



最上川美術館
 真下慶治記念館

〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1 TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152
 開館時間/午前9時~午後5時 休館日/水曜日 入館料/大人 300円 小・中学 150円
 E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp HP www.massimo-k.org